社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）北見林業土木協会

活動内容	「ワッカ原生花園」付近の環境整備を実施

１　実施年月日　：　令和元年９月１９日(木)
２　実施場所　　：　北海道北見市常呂町栄浦　網走中部森林管理署管内
　　サロマ湖畔自然休養林
３　参加会員数　：　網走中部森林管理署、北林会、森林林業振興会等、約３０名
　　（当協会：１５企業、事務局　延べ１６人）
４　活動内容：

網走中部森林管理署は、約１１万ｈａの国有林を管轄していますが、オホーツク海とサロマ湖に挟まれた砂州には「サロマ湖自然休養林」が設定されています。また、この地域にはハマナスやサンゴ草など、オホーツク特有の植物が生育しているため、「ワッカ原生花園」が設定されています。

ここには、以前に緑化植物としてイタチハギが導入されましたが、繁殖力が非常に強いため、生態系の維持や景観確保、一部では歩行にも支障となっています。

このため、森林管理署では、平成２２年度からイタチハギの駆除に取り組んでおり、当協会も他の団体と共に、ボランティアでこの活動に協力してきました。

当日は、参加者は手分けして、原生花園の中でイタチハギを手作業で刈り取ったり、サロマ湖公園線沿道でのゴミ拾いを行いました。

イタチハギは繁殖力が旺盛であるため、１０年続けて駆除作業を行っても絶滅させることはできませんが、前回よりも太く多くなっていないことが救いです。当協会は、今後ともこの活動に協力していく考えです。

なお、この活動の様子は、地域の専門紙にも掲載されました。

活動写真

作業開始前のミーティング

イタチハギの刈り取り作業

道路沿線でのゴミ拾い作業